

令和6年度「全国学力・学習状況調査」 延岡市の調査結果について

延岡市教育委員会

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和6年4月18日（木）
- (2) 対象学年 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年
- (3) 調査対象 延岡市公立小学校26校、延岡市公立中学校15校、義務教育学校1校
- (4) 調査内容 小学校…国語、算数、質問紙調査
中学校…国語、数学、質問紙調査

【調査問題：下記①と②を一体的に問う】

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

【児童生徒質問紙調査】

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

【学校質問紙調査】

調査する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する内容

3 実施の概要と調査内容について

全国の小学6年生・中学3年生を対象に学力・学習状況調査が行われ、市内の小学校26校、中学校15校、義務教育学校1校が参加し、上記のとおり、調査問題と質問紙調査に取り組みました。

学習指導要領では、育成を目指す資質・能力が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理されています。下記4(1)は、「学びに向かう力、人間性等」に関わると宮崎県が考える児童生徒質問紙調査結果の一部を、下記4(2)は「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」に関わる実施教科の調査結果を示しています。

4 調査結果の概要

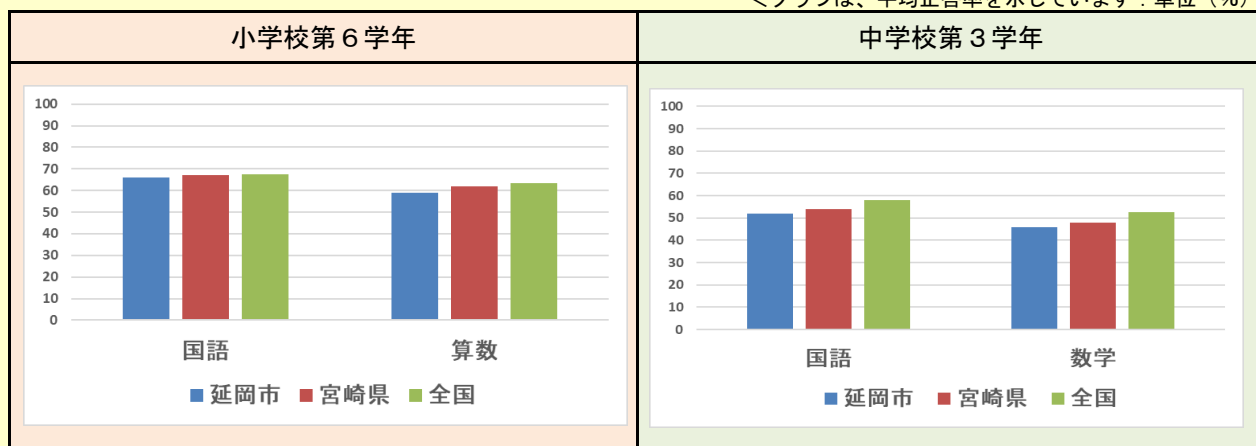
(1) 児童生徒質問紙調査の結果（一部） ※ICT 端末を用いたオンラインによる回答方式

<数値は、肯定的な回答の割合を示しています：単位（％）>

質問事項	小学校			中学校		
	延岡	宮崎	全国	延岡	宮崎	全国
将来の夢や目標を持っていますか	84.6	85.5	82.4	69.7	68.9	66.3
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	85.2	85.7	83.5	79.2	79.5	76.1
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	93.0	92.3	91.7	90.0	88.9	89.8
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	59.9	64.7	67.1	55.2	59.1	67.5
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	90.6	89.6	88.2	90.1	90.3	91.7
これまで受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。	79.8	72.7	59.5	55.0	71.4	64.4

(2) 実施教科の調査結果

<グラフは、平均正答率を示しています：単位（％）>



5 本市の特徴（概要）

- 児童生徒質問紙調査の結果を見ると、小・中学校ともに、「将来の夢や目標を持っていますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、ふるさと教育推進事業やキャリア教育、地域の方々との学習の成果と捉えています。
- 小・中学校ともに「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問事項に肯定的な回答をした割合が、全国平均よりも低くなっています。
- 道徳の授業への取組や授業における ICT 機器の活用など、小学校では肯定的な回答をした割合が全国平均よりも高いが、中学校では低くなっている項目が見られます
- 実施教科の平均正答率の結果を見ると、小、中学校共に全国平均より低くなっています。

6 児童生徒質問紙調査の状況（詳細）

(1) 学習に関する主な項目について（小学校）

- 以下の質問項目などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、先生方の日々の指導や、はげまし隊の方々の支援等により、わかあゆ教育プランに掲げる本市が目指す子ども像や延岡市の子ども達に身に付けさせたい力が身に付きつつあることが分かります。
 - ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
 - ・ 国語の勉強は好きですか
 - ・ 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
 - ・ 算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか
- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも低くなっており、総合的な学習の時間や仲間と協働する学習活動などを充実させていく必要があることが分かります。
 - ・ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
 - ・ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

(2) 生活に関する主な項目について（小学校）

- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、自他の幸せのために学び行動する意欲の高まりが分かります。
 - ・ 人が困っているときは、進んで助けていますか
 - ・ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
 - ・ 友達関係に満足していますか
- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも低くなっており、学校における児童への自己肯定感を高める取組や、児童一人一人や学級集団指導の実態をより把握し、指導に生かしていく必要があることが分かります。
 - ・ 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか
 - ・ 学校に行くのは楽しいと思いますか

(3) 学習に関する主な項目について（中学校）

- 以下の質問項目などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、先生方の日々の指導や市内企業等と連携した講師派遣事業、職場体験等のキャリア教育が生徒の意識を向上させていることが分かります。
 - ・ 国語の勉強は好きですか
 - ・ 国語、数学の勉強は大切だと思いますか
 - ・ 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも低くなっており、論理コミュニケーション力の育成や、仲間と協働する学習活動などを充実させていく必要があることが分かります。

- ・ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- ・ 国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか

(4) 生活に関する主な項目について（中学校）

- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、自他の幸せのために学び行動しようとする意欲の高まりが分かります。

- ・ 自分にはよいところがあると思いますか
- ・ 人が困っているときは、進んで助けていますか

- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも低くなっており、学校における生徒への自己肯定感を高める取組や、生徒一人一人や学級集団の実態をより把握し、指導に生かしていく必要があることが分かります。

- ・ 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

7 学校質問紙調査の状況（詳細）

(1) 小学校について

- 以下の質問事項に「週に3回以上」と回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、授業支援システム等のICT活用による授業改善が推進されていることが分かります。

- ・ 教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか
- ・ 児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか
- ・ 児童が自分で調べる場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、小・中・義務教育学校9か年を見通した取り組みが推進されていることが分かります。

- ・ 近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
- ・ 近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか

- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、延岡の豊かな人材や教育資源を活用した学校運営協議会や地域学校協働活動が効果的に推進されていることが分かります。

- ・ コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか

(2) 中学校について

- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、自然体験、創作活動等を通じたふるさと教育の推進や市内企業等と連携した講師派遣事業の充実、また、論理コミュニケーション授業の実施による大学との連携による新しい学びの創造が図られていることが分かります。
 - ・ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、ICT支援員のサポートを踏まえた授業におけるICT活用が推進されていることが分かります。
 - ・ コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか
 - ・ 教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか
- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、小・中・義務教育学校9か年を見通した取り組みが推進されていることが分かります。
 - ・ 近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、延岡の豊かな人材や教育資源を活用した学校運営協議会や地域学校協働活動が効果的に推進されていることが分かります。
 - ・ コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか

8 各教科の状況

(1) 小学校国語科

- 「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」、「文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる」問題において、全国平均を上回っています。
- 「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題や「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を下回っています。

(2) 小学校算数科

- 「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる」問題や「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を下回っています。

(3) 中学校国語科

- 「文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる」問題や「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を下回っています。

(4) 中学校数学科

- 「複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる」問題において、全国平均を上回っています。
- 「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を下回っています。

上記の全国学力・学習状況調査の結果から、教育委員会と各学校の取組の成果と今後取り組んでいくべき課題が見えてきました。

一方で、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえつつ、教育上の効果を高めていく必要があります。

これからも、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさと延岡への愛着と誇り、豊かな心と自己肯定感を土台として、自他の幸せのために学び行動する子どもの育成を目指した教育活動の推進を図っていきます。

目指す子ども像

こうどう

幸動

～自他の**幸**せのために学び行**動**する子ども～

延岡市の子ども達に身に付けさせたい力

ふるさと延岡の優れた自然や文化、伝統、人との絆を通して身に付けた豊かな心や自己肯定感を土台として、自他の幸せのために、自ら問いを立て、課題の解決に向け、仲間と協働して粘り強く学び行動する力

ふるさと延岡への愛着と誇り、豊かな心と自己肯定感を土台とした学びの姿



ふるさと延岡への
愛着と誇り



豊かな心
自己肯定感